

令和5年度  
第1回岩手県生涯学習審議会  
社会教育委員会議

期日：令和5年6月21日（水）

場所：サンセール盛岡3F 鳳凰

資料

資料1	生涯学習・文化財行政の事業体系	P 2、3
	第1期アクションプランの進捗状況	P 4、5
	1 生涯学習の推進	P 6、7
	2 家庭教育の支援	P 8、9
	3 青少年の学習活動の支援	P 10～13
	4 成人・高齢者の学習活動の支援	P 14、15
	5 社会教育の充実	P 16、17
	6 文化財の保護	P 18、19
	7 社会教育施設等の環境整備	P 20、21
資料2	学校教育室	P 24、25
資料3	保健体育課	P 26
資料4	県立生涯学習推進センター	P 27
資料5	県立図書館	P 28
資料6	県立博物館	P 29
資料7	県立美術館	P 30
資料8	県立青少年の家	P 31～33
資料9	県立野外活動センター	P 34

岩手県教育委員会



## 令和 5 年度

---

# 生涯学習・文化財行政の事業計画

---

### 生涯学習・文化財行政の体系

- 1 生涯学習の推進
- 2 家庭教育の支援
- 3 青少年の学習活動の支援
- 4 成人・高齢者の学習活動の支援
- 5 社会教育の充実
- 6 文化財の保護
- 7 社会教育施設等の環境整備

# 令和5年度 生涯学習・文化財行政の体系

## いわて県民計画(2019～2028)

I 健康余暇 II 家族・子育て III 教育 VII 歴史・文化

～東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、  
お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて～

### 岩手県教育振興計画

計画  
期間

2019年度～2023年度  
までの5年間

#### 岩手の教育をめぐる状況

##### 1 岩手の教育の歩み

- ・ 平成18年の教育基本法の改正以降、社会全体での教育改革が進行
- ・ 教育振興運動や「いわて教育の日」などの取組の推進
- ・ 学習定着度状況調査による「わかる授業」の実践
- ・ 県立美術館、県立図書館の整備等
- ・ 「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」の開催
- ・ 平泉の文化遺産や橋野鉄鉱山の世界遺産登録

##### 2 社会状況の変化

- ・ 人口減少・少子化・高齢化の進行
- ・ 急速な技術革新やグローバル化の進展
- ・ 子どもを取り巻く社会経済的な課題の表面化
- ・ 地域間格差の拡大
- ・ 東日本大震災津波からの復旧・復興

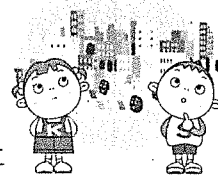
##### 3 岩手県の教育の現状と課題

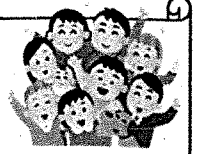
###### 学校教育

- 子どもたちをめぐる課題
  - ・ 授業力の向上や家庭学習の定着
  - ・ 情報社会に主体的に対応する力の育成
  - ・ 運動習慣の定着
  - ・ 特別支援教育における発達段階に応じた支援や指導
  - ・ いじめへの適切な対応
  - ・ 問題行動等の未然防止、早期発見・適切な対応
- 教職員のスキルの継承と負担の増加
  - ・ 働き方改革による「チームとしての学校」の推進
- 高校卒業後の進学や就職を取り巻く環境
  - ・ 大学入試制度改革への対応
  - ・ 地元定着の促進に向けたキャリア教育の充実
- 学校の統廃合や施設の老朽化
  - ・ 教育の質の保証と学ぶ機会の保障

###### 社会教育・家庭教育

- 家庭の状況変化
  - ・ 社会全体での教育力の向上
- 地域コミュニティの変化
  - ・ 教育振興運動や生涯学習による  
地域コミュニティの維持向上
- 人生100年時代の到来
  - ・ 生涯にわたって学び続けられる環境づくり
- 文化芸術・スポーツへの関心の高まり
  - ・ 文化芸術やスポーツの推進と  
地域への愛着の醸成





目指す姿

社会教育・家庭教育

県民が、主体的・相互的に連携し、助け合うことにより、家庭の教育力の向上に努めるとともに、地域課題の解決に向けた取組や、文化芸術・スポーツ活動などへの参加により、生涯を通じて楽しく学び、生き生きと生活しています。

取組の視点

視点1

岩手だからこそできる教育、やるべき教育の推進

視点2

郷土に誇りと愛着を持つ心を育み、岩手で、世界で活躍する人材を育成

視点3

学びの場の復興の更なる推進

<具体的な施策の内容>

社会教育・家庭教育

<具体的な推進方策>

学校と家庭・地域との協働の推進

- 学校・家庭・地域が連携するしくみづくり
- 多様な体験活動の充実
- 地域学校協働活動の推進 等

子育て支援や家庭教育支援の充実

- 子育てや家庭教育に関する学習活動支援
- 電話やメール等による相談体制の充実
- 子育て支援グループのネットワークづくり 等

生涯にわたり学び続ける環境づくり

- 多様な学習機会の充実
- 学びと活動の循環による地域の活性化
- 社会教育の中核を担う人材の養成・確保と研修の充実 等

次世代につなげる郷土芸能や文化財の継承

- 学校における特別活動や文化部活動による郷土芸能の継承
- 文化財の適切な保存と継承 等

# いわて県民計画(2019～2028)「第1期アクションプラン」の進捗状況 ～生涯学習文化財課主要事業の指標～

## ◎いわて幸福関連指標

### I 健康・余暇

#### 5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります

指標名	単位	現状値 (2017)	年度目標値				2022 実績値
			2019	2020	2021	2022	
生涯学習に取り組んでいる人の割合	%	40.2	41.2	42.2	43.2	44.2	36.9

## ◎具体的推進方策指標

### I 健康・余暇

#### 5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります

指標名	単位	現状値 (2017)	年度目標値				2022 実績値
			2019	2020	2021	2022	
生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数(累計)	人	792	835	860	885	910	911
生涯学習情報提供システム(HP)利用件数	件	63,542	72,000	79,000	120,000	120,000	68,489
「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合	%	小5; 45	46	47	48	50	44
		中2; 42	44	46	48	51	37
		高2; 38	41	44	48	52	32
放課後子供教室に指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	13.0	40.0	60.0	80.0	100.0	73.1
県立社会教育施設で開催した「岩手」をテーマとした講座の受講者数(オンラインを含む)	人	850	950	1,050	650	1,020	1,046
教育振興運動として計画的に取り組まれている地域活動件数	件	4,224 (2018)	4,454	4,684	3,650	3,900	3,852
社会教育指導員・地域づくり関係者の資質向上を図る研修会の受講者数	人	79	93	103	113	123	155
県立博物館・県立美術館の企画展における観覧者の満足度の割合	%	91	91	91	91	91	92
県立青少年の家における利用者の満足度の割合	%	97	97	97	97	97	99

### II 家族・子育て

#### 6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります

指標名	単位	現状値 (2017)	年度目標値				2022 実績値
			2019	2020	2021	2022	
放課後子供教室に指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	13.0	40.0	60.0	80.0	100.0	73.1
すこやかメールマガジンの登録人数	人	1,041	2,000	3,000	4,000	5,000	4,062
子育てサポーター等を対象とした家庭教育支援に関する研修会の参加者数	人	502	525	550	575	600	892

7 地域コミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもを教え、育てます

指 標 名	単位	現状値 (2017)	年度目標値				2022 実績値
			2019	2020	2021	2022	
コミュニティ・スクール設置市町村数（累計）	市町村	4	9	11	25	33	33
地域協働の仕組みにより保護者や地域住民が学校の教育活動にボランティアとして参加している学校の割合	%	小5；79.0	81.0	82.0	83.0	84.0	100
		中2；60.0	62.8	64.2	65.6	67.0	97.3
教育振興運動として計画的に取り組まれている地域活動件数【再掲】	件	4,224 (2018)	4,454	4,684	3,650	3,900	3,852
放課後子供教室に指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合	%	13.0	40.0	60.0	80.0	100.0	73.1
県立青少年の家が提供する親子体験活動事業への参加者の満足度の割合	%	98	98	98	98	98	99

III 教育

12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます

指 標 名	単位	現状値 (2017)	年度目標値				2022 実績値
			2019	2020	2021	2022	
「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合【再掲】	%	小5；45	46	47	48	50	44
		中2；42	44	46	48	51	37
		高2；38	41	44	48	52	32
コミュニティ・スクール設置市町村数（累計） 【再掲】	市町村	4	9	11	25	33	33

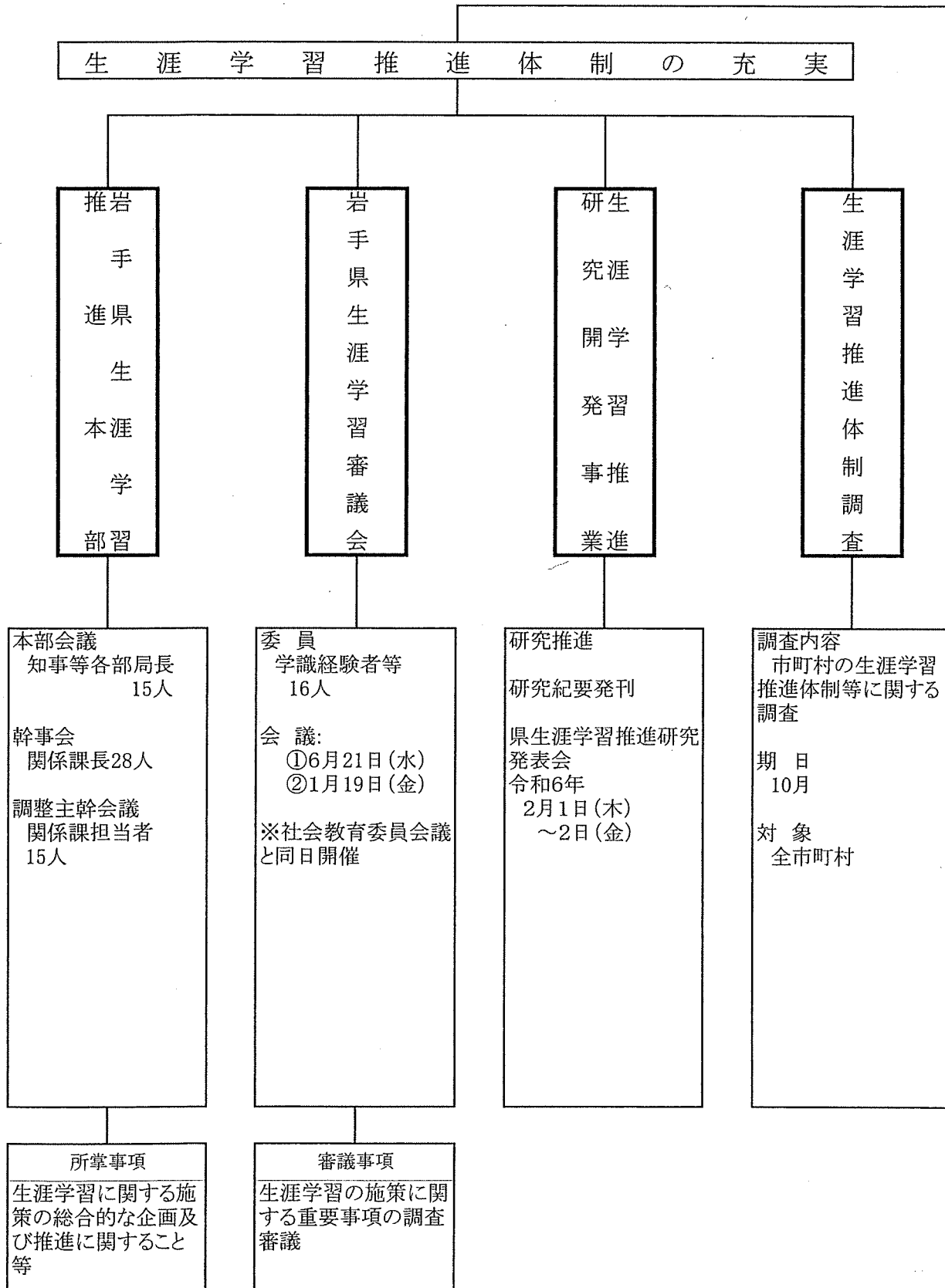
VII 歴史・文化

41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流をひろげます

指 標 名	単位	現状値 (2017)	年度目標値				2022 実績値
			2019	2020	2021	2022	
文化財保存活用地域計画を策定した市町村数 ※	市町村	—	3	8	3	4	4

※目標値は2019年からの累計

# 1 生涯学習の推進





# 生涯学習の普及奨励

生涯学習  
情報提供  
事業

○HP「まなびネットいわて」の運用  
ア 指導者・ボランティア情報  
イ 講座・イベント情報  
ウ 団体・グループ情報  
エ 教材情報  
オ 施設情報  
カ 相談・支援 等

○メールマガジン提供

○県立生涯学習推進センター情報紙発行

○SNS（フェイスブック、ツイッター）の運用

生涯学習  
推進センター  
業務

○生涯学習ボランティアセンターの一元化・再構築化

・データについては生涯学習推進センターに一元化  
・各教育事務所単位での相談業務は継続

○生涯学習ボランティア等に関する情報の提供（HP「まなびネットいわて」に掲載）

生涯学習  
ナビコール  
相談

開設日  
月～金

時間  
9:00～17:00

電話  
0198 (27) 4563

担当  
専門職員等

高等学校  
卒業試験  
受験

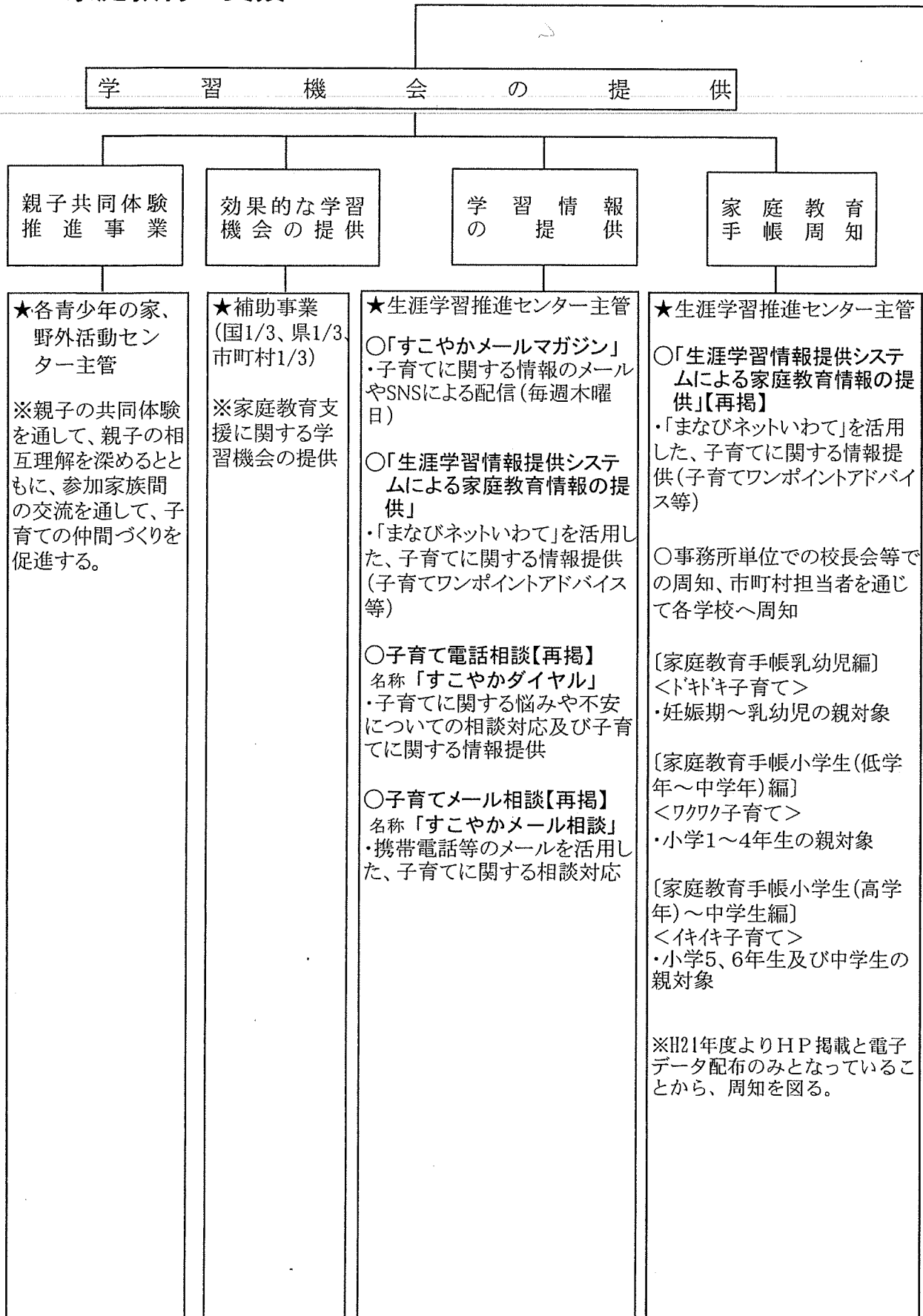
期日  
①8月3日(木)～4日(金)  
②11月4日(土)～5日(日)

対象  
高校を卒業していない等の理由により、大学入学資格を有していない者

場所  
①いわて県民情報交流センター(アイーナ)  
②生涯学習推進センター

\*要項は県が配布、願書の提出は直接国へ

## 2 家庭教育の支援



家庭教育を支える環境づくり

相談体制の充実  
意識啓発

家庭教育  
支援体制整備

子育てサポーター等の  
スキルアップ・支援関  
係者のネットワークづ  
くりによる活動促進

放課後児童支援員  
認定資格研修

★生涯学習推進センター  
主管

○子育て電話相談  
名称 「すこやかダイヤル」  
・子育てに関する悩み  
や不安についての相談  
対応及び子育てに関す  
る情報提供

○子育てメール相談  
名称 「すこやかメール相談」  
・スマートフォン等のメー  
ルを活用した、子育てに  
関する相談対応

○「すこやかメール  
マガジン」【再掲】  
・子育てに関する情報の  
メールやSNSによる配信  
(毎週木曜日)

★補助事業  
(国1/3、県2/3)

○促進会議の開催  
期日 年2回  
会場 サンセール盛岡  
内容 学校・家庭・地域の  
連携による教育支  
援活動促進に向け  
た事業内容の意見  
聴取

アドバイザー 有識者、児童  
福祉関係者、  
教育関係者等

視察 年数回  
○家庭教育・子育て支  
援担当者研修会  
目的 行政担当者等のス  
キルアップ

回数 1回(センター主管)  
内容 講演、グループ協議  
対象 行政担当職員等

○子育て・家庭教育相  
談担当者研修会  
目的 電話相談担当者等  
のスキルアップ

回数 2回(センター主管)  
内容 講話、講義  
対象 電話相談担当者等

○地域安全防災研修会  
目的 行政担当者等のス  
キルアップ

○放課後子ども総合プ  
ラン指導者合同研修会  
目的 指導者等のスキル  
アップ

★補助事業  
(国1/3、県2/3)

○子育て支援活動交流  
研修会

目的 関係者の資質向上  
とネットワーク形成

回数 推進センター1回  
(センター主管)

内容 講義、事例発表、  
ワークショップ

対象 子育てサポーター、  
行政担当職員、支援  
団体関係者等

○地区家庭教育・子育て  
支援ネットワーク研修会

目的 支援者の資質向上、  
地域の課題解決の  
ためのネットワー  
ク構築

回数 教育事務所管内  
各1回程度  
(事務所主管)

内容 管内の課題による  
対象 上記研修会に同じ

★補助事業  
(国1/2、県1/2)

※放課後児童健全育成  
事業の設備及び運営に  
関する基準の改正(H26  
4)に伴い、県が実施す  
る研修を子ども子育て  
支援課と共催で開催し、  
子育て家庭を支援する  
主催 子ども子育て  
支援室  
共催 生涯学習文化財  
課  
主管 生涯学習推進  
センター

○岩手県放課後児童支  
援員認定資格研修

期日 6月～11月  
会場 4会場  
内容 講義、演習等  
(16科目24時  
間程度)

対象 放課後児童クラ  
ブ等での従事を  
希望している方  
または従事して  
いる方

### 3 青少年の学習活動の支援①

子どもの読書活動推進事業	
子どもの読書活動推進体制整備事業	子どもの読書活動推進研修事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>○岩手県子どもの読書活動推進会議 (6月16日、1月26日)</li> <li>・県全域における推進方針</li> <li>・施策への意見聴取等</li> <li>○子どもの読書活動推進体制整備事業 (各地域事業)</li> <li>・各地区における推進体制の整備</li> <li>・各教育事務所主管</li> <li>○岩手県子どもの読書状況調査 対象期間：10月1日～31日 調査対象：県内の公立小学校5年生・ 中学校2年生(義務教育 学校5年・8年)・高校 2年生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読書ボランティア等研修会 (中央研修)</li> <li>・県内全域を対象とした読書ボランティア 等の資質向上を図る</li> <li>・生涯学習推進センター主管</li> <li>○読書ボランティア等研修会 (各地域研修)</li> <li>・地域の実情に応じた研修会</li> <li>・各教育事務所主管</li> <li>○中・高等学校図書館担当者等研修会</li> <li>・学校と関係機関との連携体制構築及び担 当者の資質向上を図る</li> <li>・各教育事務所主管</li> </ul>
子どもの読書活動普及啓発事業	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○岩手県子どもの読書活動推進計画 ・第4次計画の推進と第5次計画の 策定</li> <li>○ブックリスト「いわ100(中高生向 け)」及び「いわ100きっず(小学生 向け)」の活用促進</li> <li>・中学1年生及び小学1年生への配付</li> <li>・活用例等の情報提供</li> </ul>	

青少年の家等プログラム充実事業

- 県立各青少年の家等におけるプログラム開発
  - ・特色ある自然体験プログラム
  - ・不登校児童生徒等対応プログラム
  - ・地域人材のボランティア養成プログラム
  - ・復興、防災教育プログラム

青少年健全育成連携事業

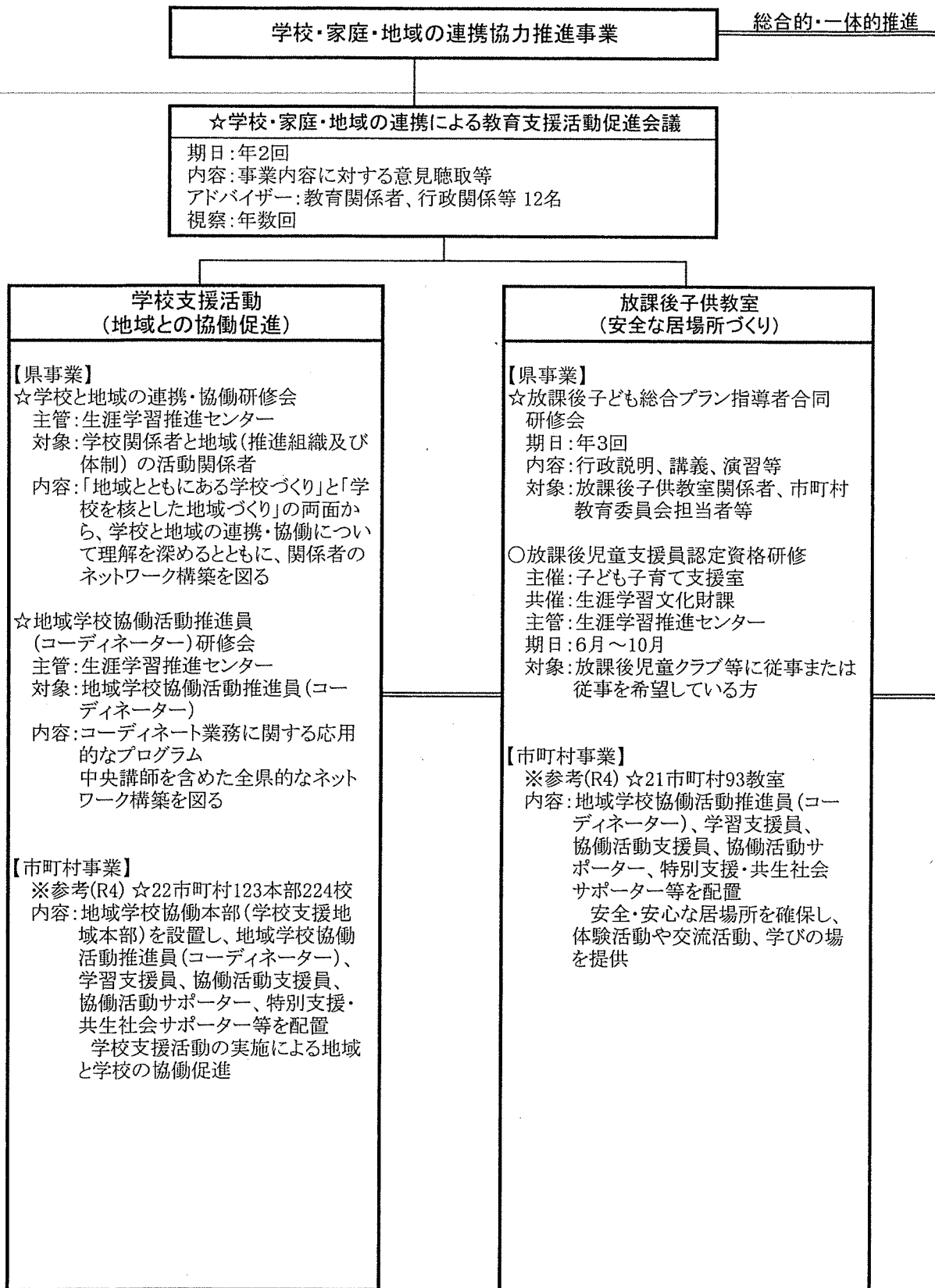
若者女性協働推進室  
・青少年育成県民会議連携

- いわて希望塾
  - ・期日：11月11日（土）
  - ・場所：県立野外活動センター
  - ・内容：知事講話、グループディスカッション等
- わたしの主張岩手県大会
  - ・期日：9月13日（水）
  - ・場所：盛岡市河南公民館
  - ・内容：中学生による意見発表
- わたしの主張地区大会
  - ・期日：8月～9月
  - ・場所：各警察署管内
  - ・内容：中学生による意見発表
- 情報メディア対応促進事業
  - ・教振運動との連携
  - ・出前講座
  - ・講師派遣に係る情報提供
  - ・相談窓口紹介
- 立入調査
  - ・不健全図書立入調査
  - ・隔月実施
- いわて家庭の日
  - ・家族・親子のふれあいを啓発する県民運動を推進
  - ・毎月第3日曜日

子どもゆめ基金

子どもゆめ基金

### 3 青少年の学習活動の支援②(学校と地域の連携・協働)



教育振興運動・地域学校協働活動推進事業

連携  
目標共有

いわて地域学校連携促進事業

教育振興運動推進幹事会

内容:運動の推進方針の検討・協議等  
視察:5~7月

○「教育振興運動・地域学校協働活動」市町村担当者研修会  
主管:生涯学習文化財課  
期日:6月7日  
場所:生涯学習推進センター  
対象:市町村担当者、教育事務所担当者  
内容:行政説明

○「教育振興運動・地域学校協働活動」地域活性化推進事業

・地域学校協働活動推進員(コーディネーター)  
地区別研修講座

主管:教育事務所

対象:今後、地域学校協働活動推進員の役割を担うことが考えられる保護者及び地域住民等

内容:各地域で活動している推進員の参画により設定  
上記推進員を中心とした各地域のネットワーク構築

・「教育振興運動・地域学校協働活動」地域活性化推進事業に係る訪問支援

主管:教育事務所

内容:地域学校協働活動の充実や推進体制の整備等を目的に実施する訪問支援

○地区「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム  
期日:各教育事務所と調整  
場所:各教育事務所管内  
内容:実践事例発表、パネルディスカッション等

○教育委員会説明会(要請に応じて実施)  
期日:各市町村教育委員会と調整  
場所:各市町村庁舎内  
内容:国および県施策の説明

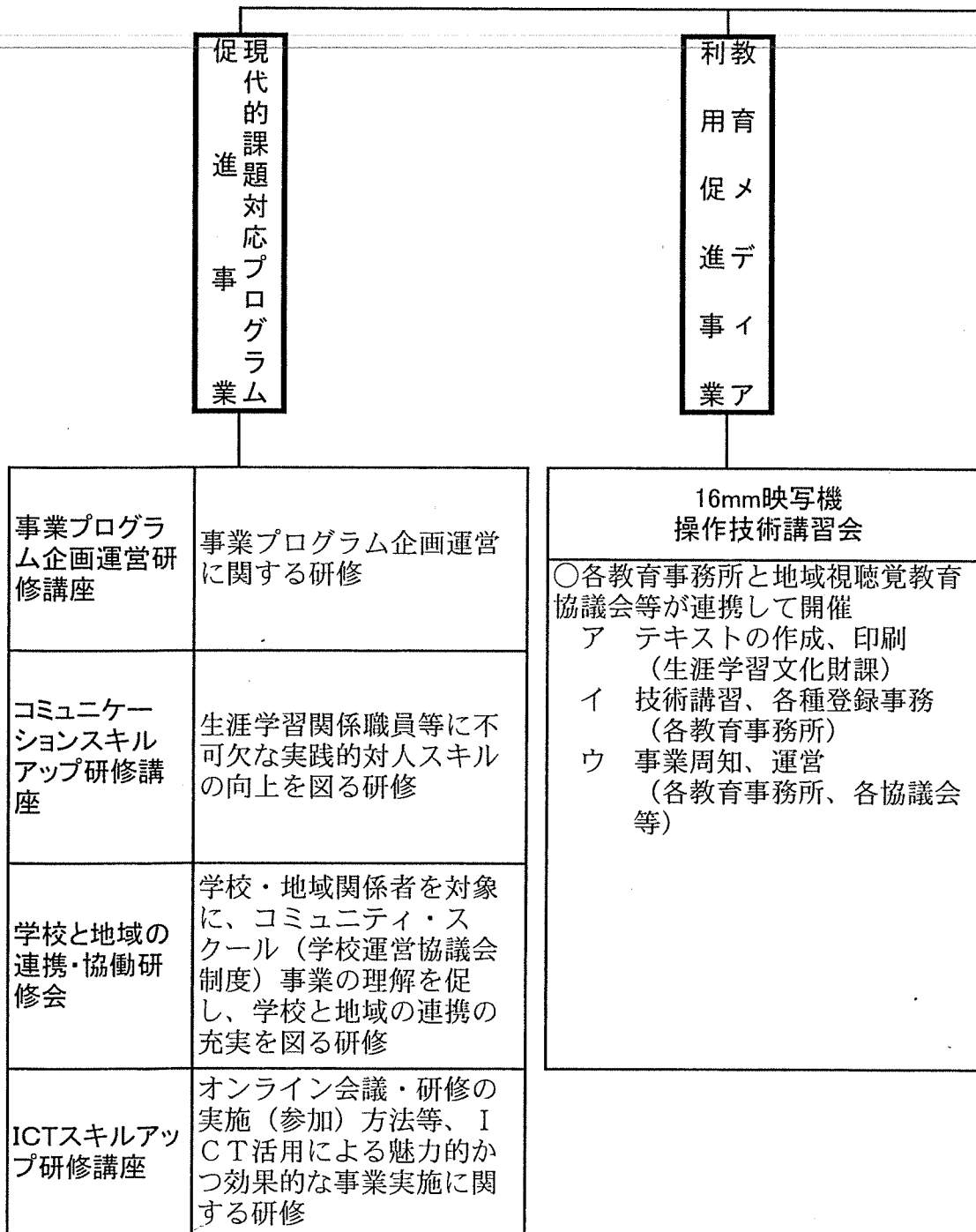
○地域学校連携・協働推進支援事業(訪問支援)  
期日:通年  
場所:各市町村、学校、地区等  
内容:指導主事・社教主事が連携し、各市町村等が抱える課題解決のための事業等に対し、要請に応じて支援を実施する。

○社会教育施設の有効活用  
期日:通年  
場所:各青少年教育施設等  
内容:社会教育施設を活用した授業の取組事例を収集・紹介する。

(注) ☆が付いている事業

国庫事業「学校・家庭・地域連携協力推進事業」  
(国1/3、県1/3、市町村1/3)構成事業として実施

## 4 成人・高齢者の学習活動の支援





(再掲)

シ生  
ス涯  
テ学  
ム習  
運情  
営報  
事提  
業供

用高  
の齢  
場者  
のの  
情学  
報習  
提活  
供動  
等支  
援・  
活

学障  
習が  
活い  
動者  
のの  
推生  
進涯  
を通  
じた

### 学習メニューのHP掲載

#### ○HP

「まなびネットいわて」の運用  
ア 指導者・ボランティア情報  
イ 講座・イベント情報  
ウ 団体・グループ情報  
エ 教材・施設・新聞記事情報  
オ 子育てサポーター

#### ○メールマガジン提供

ア いわてマナビィマガジン  
イ すこやかメールマガジン

#### ○県立生涯学習推進センター情報発行

・世代間交流や青少年関連事業、学校支援活動、子どもの居場所づくり、教育振興運動等への高齢者の参加促進及び活動状況の県民への事例周知等

### 学習支援体制整備

障がい者の学校卒業後の学びの基盤づくり

○関係各室課による庁内連携会議(年2回)

○市町村担当者研修会

主管:生涯学習文化財課

期日:7月7日

場所:生涯学習推進センター

対象:市町村担当者、教育事務所担当者等

内容:行政説明、事例発表等

### 調査・研究

○市町村担当者調査

### 学習情報の提供等

○関係各課、各市町村への情報提供

○文部科学大臣表彰等による好事例の紹介

## 5 社会教育の充実

### 指導体制の充実

#### 諸会議の開催

県社会教育委員会

- ・第1回 6/21
- ・第2回 R6 1/19

県社会教育主事等会議

- ・第1回 4/11
- ・第2回 11/7、8
- ・第3回 R6 2/14

市町村主管課長会議

- ・各教育事務所
- ・4～5月

都市社会教育主管課長会議

- ・八幡平市  
(期日未定)

#### 人的体制の充実

社会教育主事講習の受講促進  
社会教育主事の配置促進

(再掲)

#### 「いわてマナビマガジン」の配信

・教育振興運動など生涯学習・社会教育に関する最新トピックを月2回配信

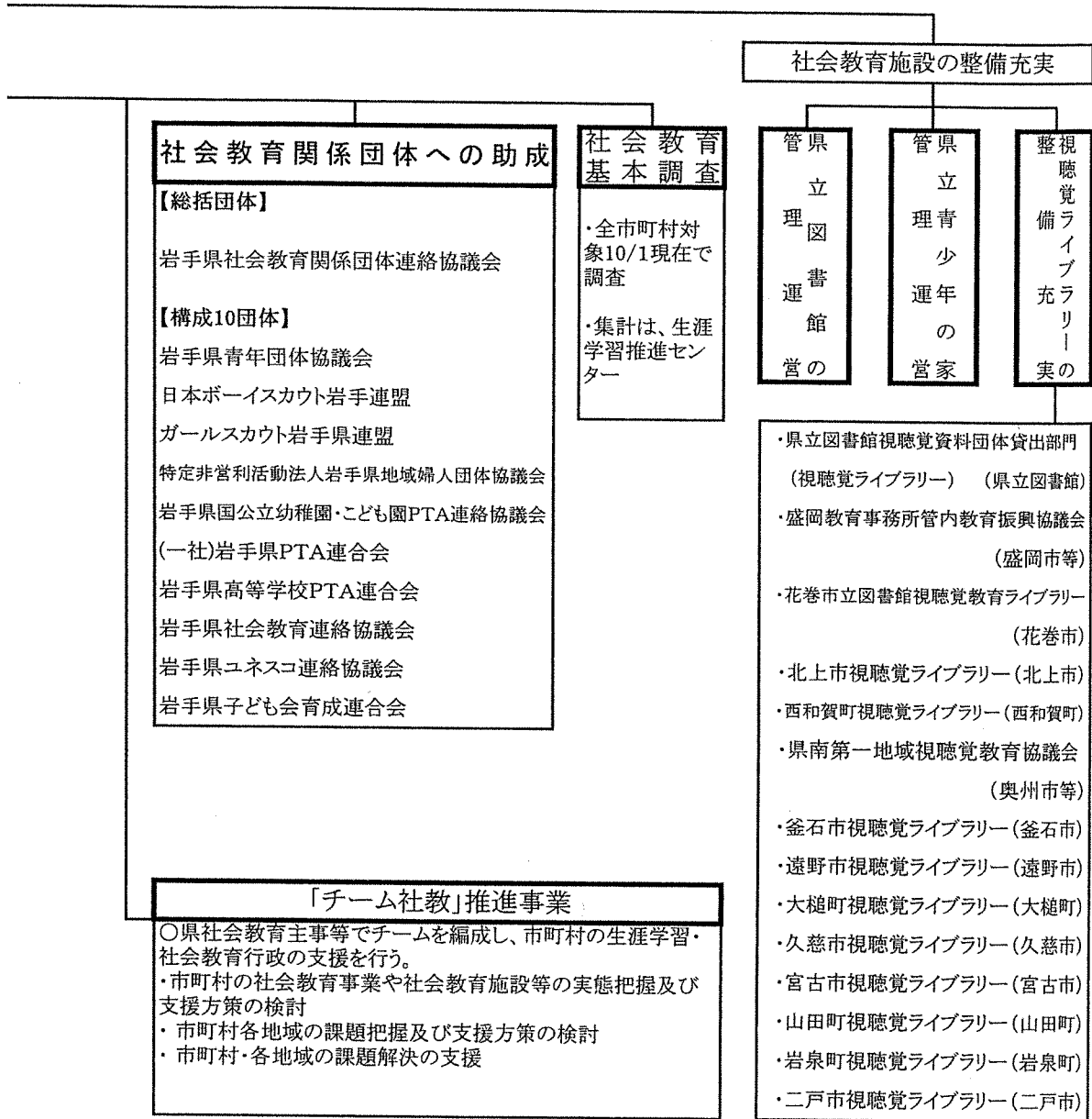
#### 社会教育関係職員研修の充実

##### 【生涯学習推進センター関係】

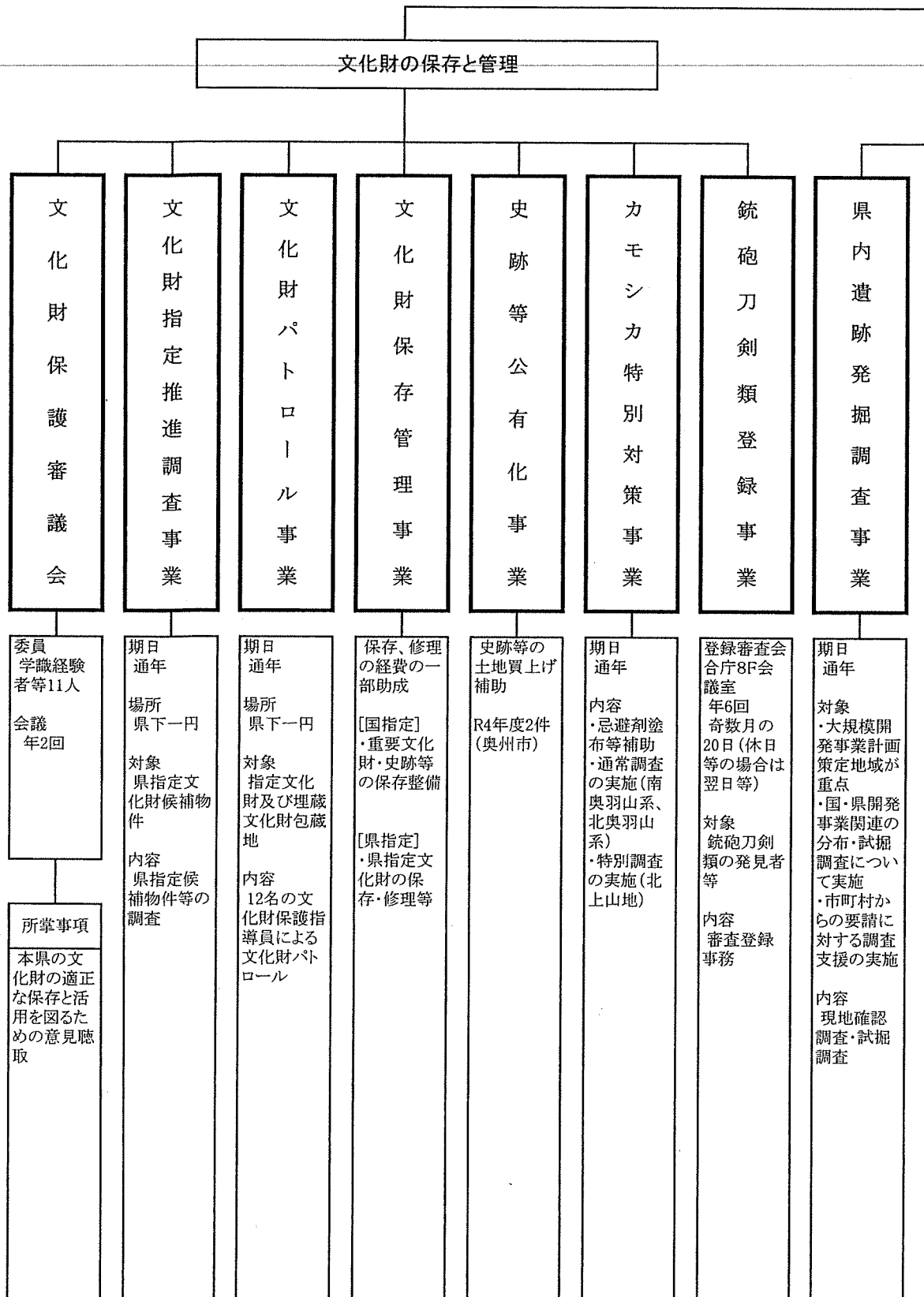
- ・市町村職員・関係職員研修
- 新任生涯学習関係職員研修講座
- 社会教育指導員・地域づくり関係職員等研修講座
- センター・公民館・主管課職員等セミナー
- 人づくり・地域づくり関係職員等研修講座
- 事業プログラム企画運営研修講座
- コミュニケーションスキルアップ研修講座
- 学校と地域の連携・協働研修会
- 地域安全防災研修会
- ICTスキルアップ研修講座
- 家庭教育・子育て支援担当者研修会
- 子育て・家庭教育相談担当者研修会
- 岩手県地域視聴覚教育協議会専任職員等研修会
- ・ボランティア活動者・有志指導者研修
- 地域学校協働活動推進員(コーディネーター)研修会
- 読書ボランティア研修会
- 放課後子ども総合プラン指導者合同研修会
- 家庭教育・子育て支援活動交流研修会
- ・要請研修
- 随時研修(通年)、出前研修(講師派遣)
- ・その他
- 岩手県生涯学習推進研究発表会
- 放課後児童支援員認定資格研修

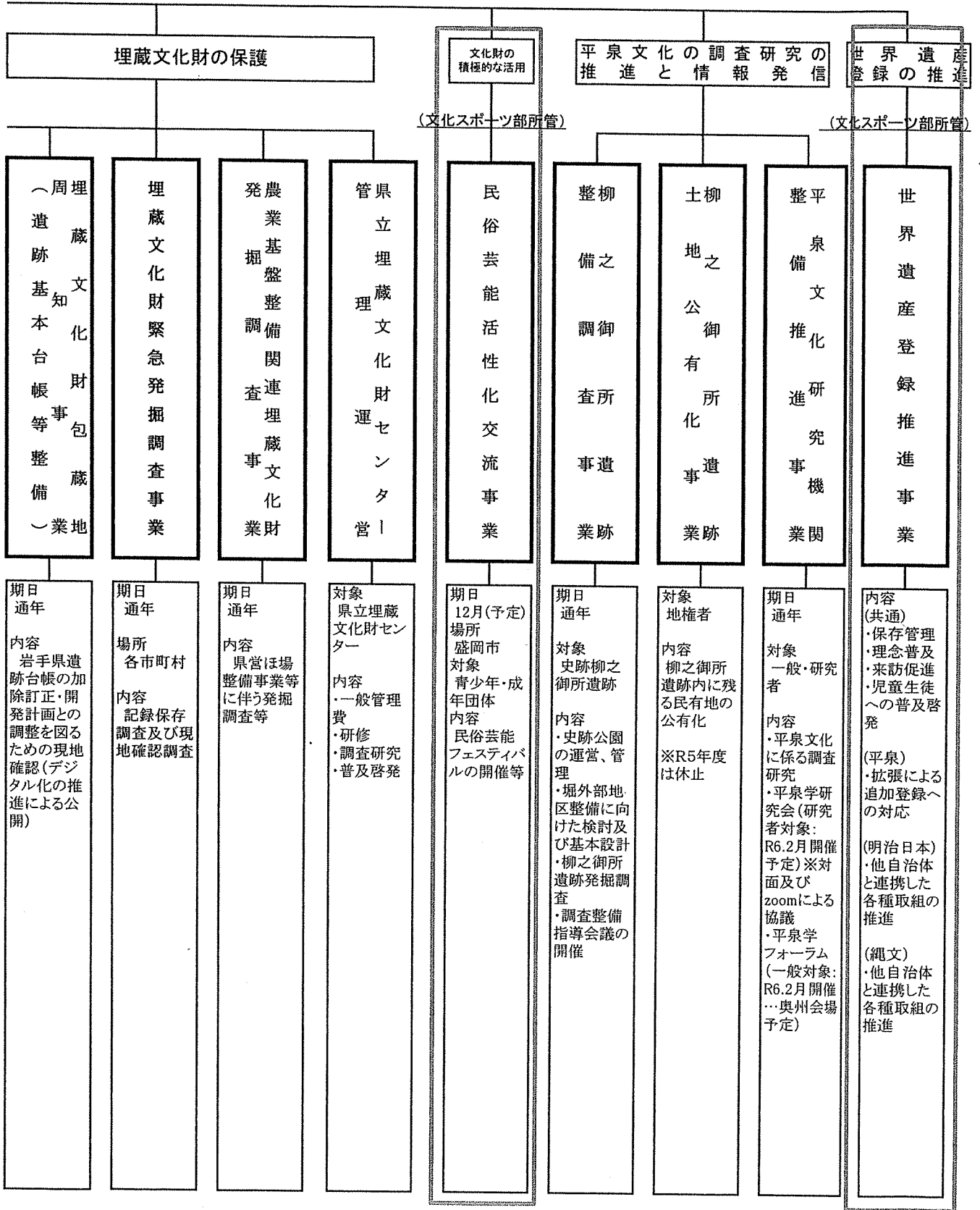
##### 【社会教育主事講習】

- ・秋田大学・国社研A・B
- 【県立図書館関係】
- 新任図書館長等研修会
- 初任職員研修会
- 中堅職員研修会
- 図書館職員・図書館協議会委員合同研修会
- 市町村職員専門研修
- 【文部科学省、社会教育実践センター等】
- 全国生涯学習センター等研究交流会
- 「全国社会教育主事の会」研究交流会
- 地域教育力を高めるボランティアセミナー
- 公民館職員専門講座
- 図書館司書専門講座
- 新任図書館長研修
- ミュージアムトップマネジメント研修
- 社会教育主事専門講座
- 博物館学芸員専門講座
- 全国博物館長会議
- 学芸員等在外派遣研修
- 【独立行政法人 国立女性教育会館】
- 男女共同参画推進フォーラム
- 地域における男女共同参画推進リーダー研修

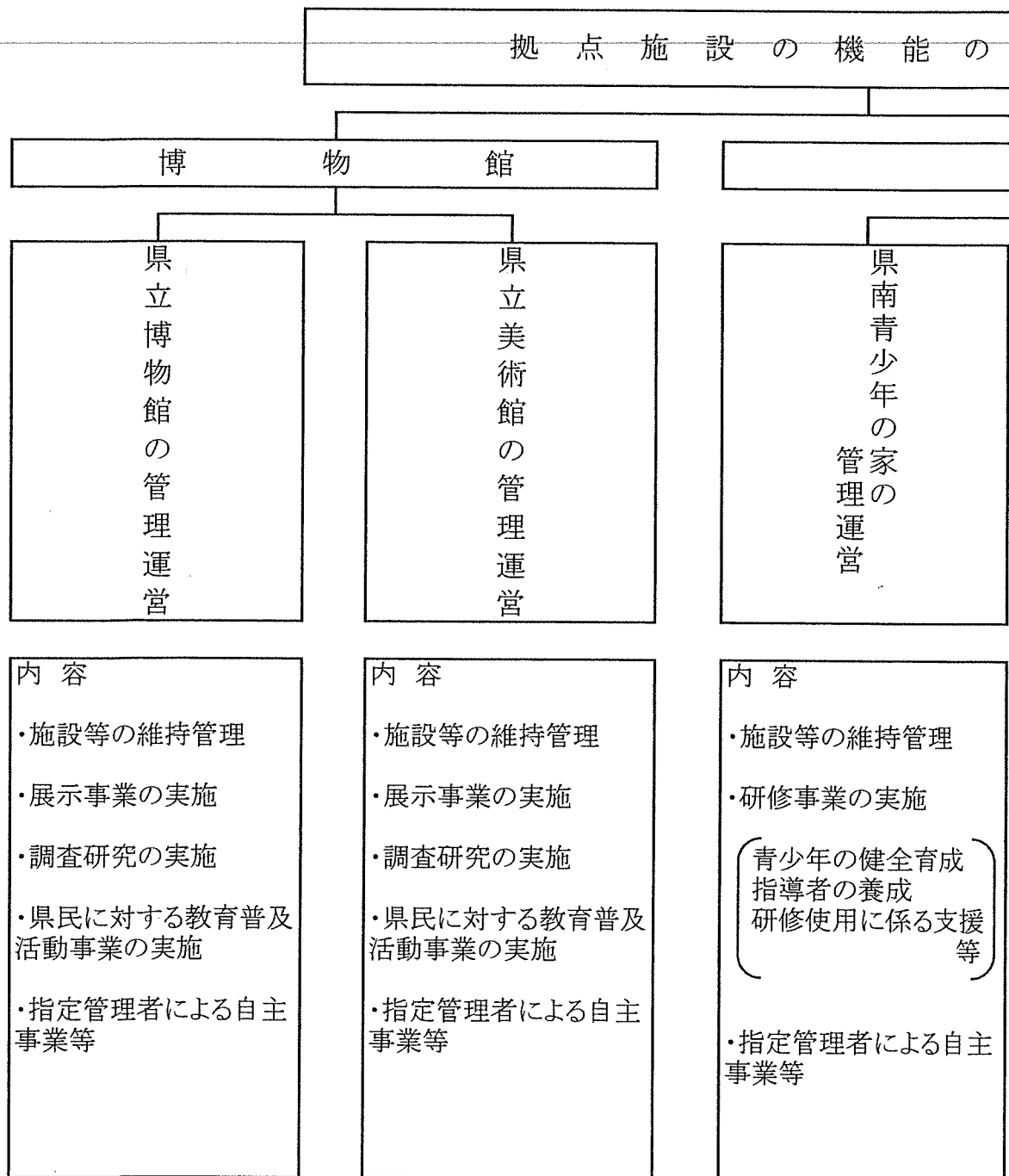


## 6 文化財の保護





## 7 社会教育施設等の環境整備



充 実

青 少 年 の 家 等

陸  
中  
海  
岸  
青  
少  
年  
の  
家  
の  
管  
理  
運  
営

県  
北  
青  
少  
年  
の  
家  
の  
管  
理  
運  
営

野  
外  
活  
動  
セ  
ン  
タ  
ー  
の  
管  
理  
運  
営

内 容

- ・施設等の維持管理
- ・研修事業の実施

〔青少年の健全育成  
指導者の養成  
研修使用に係る支援  
等〕

- ・指定管理者による自主  
事業等

内 容

- ・施設等の維持管理
- ・研修事業の実施

〔青少年の健全育成  
指導者の養成  
研修使用に係る支援  
等〕

- ・指定管理者による自主  
事業等

内 容

- ・施設等の維持管理
- ・研修事業の実施

〔野外活動の普及奨励  
青少年の健全育成  
指導者の養成  
復興・防災教育 等〕





## 令和5年度

### 各課・各公所主要施策

資料2	学校教育室
資料3	保健体育課
資料4	県立生涯学習推進センター
資料5	県立図書館
資料6	県立博物館
資料7	県立美術館
資料8	県立青少年の家
資料9	県立野外活動センター

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課

## 令和 5 年度主要施策（概要）

公所名 学校教育室

説明者 学校教育企画監 度會 友哉

## 1 重点施策について（重点事項や前年度からの改善点等）

項目	内容
グローバル人材の育成	グローバルな視点を持ち地域の国際化に貢献できる人材を育成するため、英語ワークショップである「イーハトーブの森」を通じて、グローバル人材として必要な語学力（英語力）の向上を図る。
高校の魅力化	地域等と連携・協働しながら地域や社会の課題を発見・解決する取組を通して、生徒の課題解決能力等の資質・能力を養うとともに、地域への理解を深め地域の活性化につなげる。
いわての復興教育の推進	「いわての復興教育」プログラム第3版及び副読本を基にした「絵本」を昨年度に引き続き作成し、「いわての復興教育」を未就学児にも拡充するとともに、就学前教育及び生涯学習との連携を強化し一層の充実を図る。
こころのサポートの充実	スクールカウンセラー等の配置、「心とからだの健康観察」の実施、教員研修の3点を柱として、幼児児童生徒のこころのサポートに引き続き取り組む。
いじめ問題対策	いじめ問題への組織的かつ適切な対処、自殺予防、関係機関との連携、児童生徒による取組の推進等、いじめ問題への対応に係る教員研修の充実や「いじめ問題解決支援チーム」の派遣等に取り組む。
県立高校入試制度の変更	令和7年度以降の県立高校入試の実施方法について周知を進めるとともに、令和6年度中に実施する令和7年度入試の円滑な実施に向けた準備を進める。
就学前教育の充実	就学前教育の充実に向け、いわて幼児教育センターの機能である「研修」、「訪問支援」、「調査研究・情報共有」を、施設類型を越えて一体的に推進しながら、就学前教育推進体制の構築を図る。

## 2 事業計画について


領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
グローバル人材の育成	いわての地域国際化人材育成事業	イーハトーブの森～英語で未来を拓くイングリッシュワークショップ～ ・小5～高3対象 ・目標とする英語力にあわせた2コース	5/20、 6/24の2回（オンライン）	児童生徒各回 40名程度
高校の魅力化	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業	① 令和4年度より全県立高校に展開している「高校の魅力化」の取組の充実。高校と地元市町村等の協働体制の強化。 ② 地域等の関係機関と連携・協働した探究的な学びの推進。地元小・中学校等との連携の強化、取組の発信。コンソーシアムの設置・運営。	通年	全県立高等学校 63校
いわての復興教育の推進	いわての復興教育推進事業、学校安全総合支援事業	・いわての復興教育スクール ・学校防災アドバイザー派遣事業 ・「震災の教訓を未来に語り継ぐ」期間の設定 ・児童生徒実践発表会  ・岩手県防災教育研修会	2/9まで 2/9まで 3月まで随時 1/26  6/6	全公立学校  児童生徒、教職員、保護者、一般等 管理職・主任層、市町村防災担当者等
教育相談体制の充実	SC、SSWの配置	学校、教育事務所等に配置し、重層的な教育相談体制を充実させる。	通年	全校種の児童生徒
	心とからだの健康観察	要サポート児童生徒を把握し、早期の支援につなげる。	8月～9月	全校種の児童生徒
	こころのサポートに係る教員研修	SCを講師として、こころのサポートに係る教員対象の校内研修会を実施。	5月～2月	全校種の教員
いじめ対策	いじめ問題に係る教員研修	・いじめ特別研修（主任層、担任層）の実施 ・いじめ問題に係る事務所研修 ・学校等研修支援訪問	5月 5月～11月 6月～12月	全校種の教員
	いじめ問題解決支援チーム派遣	・解決困難ないじめ事案に対する訪問支援 ・「いじめ対応・不登校支援等アドバイザー」による支援	通年	学校及び教育事務所・市町村教育員会

学習指導要領の趣旨及び内容の理解促進	教育課程協議会、授業カブラッシュアップ事業及び関連する各種研修会等	学習指導要領を踏まえた学習評価に係る説明・協議やモデル授業の提案等とおして、各教科等における指導と評価の一体化について理解を深める。	R5.4月～ R6.3月	県内小・中・義務教育学校教職員、市町村教育委員会関係者等
道徳教育及び人権教育の充実	道徳教育研究推進事業 人権教育研究推進事業	多様な教育活動と関連を図ったカリキュラム編成や教員の指導力向上に向けた教員研修を充実させるとともに、互いの人権や多様性を認め合う機会を重視した研究（指定校）を推進する。	R5.4月～ R6.3月	県内小・中・義務教育学校教職員、市町村教育委員会関係者等
遠隔教育	「遠隔教育ネットワーク構築事業」の推進	配信拠点から受信校5校への授業配信を行い、遠隔授業の継続的な実施に向けて、事業を推進。	通年	配信センター、受信校
探究的な学びの深化	「探究・STEAM教育推進事業」の実施	各地域の中核的な学校が取り組むSTEAMの視点からの探究的な学びの支援を実施。	通年	推進校9校
就学前教育の充実	いわて幼児教育センター運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前教育施設職員を対象にした研修と幼保小接続研修の充実</li> <li>・幼児教育専門員による訪問支援と市町村幼児教育アドバイザーの配置促進</li> <li>・県指定研究事業</li> </ul>	通年	幼稚園、認定こども園、保育所、小学校、関係機関

令和 5 年度主要施策（概要）

公所名 保健体育課  
 説明者 総括課長 菊池 勝彦

1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
<p>・「よりよい運動習慣」の形成</p> <p>・「望ましい食習慣」の形成</p> <p>・「規則正しい生活習慣」の形成</p>	<p>「60（ロクマル）プラスプロジェクト」の推進（継続）</p> <p>児童生徒一人ひとりが自らの体力や健康に関心を持ち、生涯を通じて健康で活力ある生活を送ることができるよう、家庭や地域などと連携し、</p> <p>「よりよい運動習慣」                  「望ましい食習慣」                  「規則正しい生活習慣」</p> <p>の形成による健康の保持・増進に向けて、各習慣を相互に関連付けた一体的な取組を推進する。</p> <p>主な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジカードの活用による、3つの習慣を関連付けた取組みの推進。</li> <li>・優良実践校表彰及び実践発表会の開催。</li> <li>・指導主事派遣等による推進支援。</li> <li>・ICT を活用した健康管理の調査や検討。</li> </ul>  <p>ポスターには「60(ロクマル)プラスプロジェクト推進事業啓発ポスター」とあり、中央に大きな「60」があり、「ロクマルプラス」の文字が添えられています。周囲には「よりよい運動習慣の形成」「体の元気アップ」「仲よしアップ」「毎日の楽しさアップ」「心の元気アップ」「免疫力アップ」「望ましい食習慣の形成」「規則正しい生活習慣の形成」などのフレーズが描かれています。下部には「『運動習慣』『食習慣』『生活習慣』を意識し 毎日を健康に過ごしましょう!」とあり、さらに細かい説明文と「若手県教育委員会事務局保健体育課」のロゴが記載されています。</p>

2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
<p>児童生徒の健康の保持・増進に向けた対策の充実</p>	<p>・食育の推進</p> <p>・資質・能力向上研修</p>	<p>・食への理解促進や、家庭への望ましい食習慣等の啓発の実施。</p> <p>・多様化・深刻化する子どもの健康課題に対応するための研修会を実施。</p>		<p>・全校種</p>
<p>適切な部活動体制の推進</p>	<p>・自主的、自発的な活動の推進</p> <p>・学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行</p>	<p>・生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動を推進。</p> <p>・「地域移行に向けた手引き」や全国で取り組んでいるモデル事業等の情報提供。</p>	<p>・通年</p>	<p>・中学校</p> <p>・高等学校</p>
<p>安全でよりよい教育環境の整備</p>	<p>・学校安全の推進</p>	<p>・学校施設等の安全点検による事故等の未然防止や、関係機関との連携による通学時の見守りや安全教育の推進。</p> <p>・バス利用時の安全確保の推進。</p> <p>・自転車乗車中のヘルメット着用など自転車の安全利用に向けた取組を推進。</p>		<p>・全校種</p>

## 令和 5 年度主要施策（概要）

公所名 生涯学習推進センター

説明者 所長 外館 邦博

## 1 重点施策について（重点事項や前年度からの改善点等）

項目	内容
領域 (1) 学習情報提供・相談	○生涯学習情報提供システム（Web ページ）「まなびネットいわて」のリニューアルによるコンテンツの更なる充実と最新情報の提供、メルマガ配信数の増加に取り組み、広報紙及び電話対応と併せて、多様な情報提供と相談対応を行う。
領域 (2) 調査・研究の推進	○「地域づくりにおける公民館等の役割と課題」と「SDGs(持続可能な開発目標)の実現に向けた社会教育の役割と課題」について調査および実践的研究に取り組み、市町村や関係機関・団体の支援に努める。
領域 (3) 指導者の養成・研修の充実	○市町村生涯学習・社会教育関係職員、家庭教育・子育て支援・地域づくり関係職員等の教育委員会及び各部署関係職員の資質の向上を図る。また、行政担当部局間及び支援団体関係者のつながりづくりに努める。 ○地域学校協働活動推進員（コーディネーター等）の研修の充実を通して、学校と地域の連携・協働の推進を図る。 ○人づくり・地域づくり、ICT 活用、家庭教育・子育て支援、障がい者の生涯学習等の研修を通して、職員及び関係者の資質向上を図る。

## 2 事業計画について（重点事業 2～3）

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
領域 (1) 学習情報提供・学習相談	Web ページの管理運用	・生涯学習情報提供システム（Web ページ）「まなびネットいわて」のリニューアルによるシステム機能やコンテンツの充実及び有益な生涯学習情報の発信 ※R5 目標値:年間 4,550 件 ・研修講座のオンライン配信（一部） ・専用 Web ページの効果的活用（事業周知や参加申込、資料ダウンロード、視聴等）	年間	県民
	相談対応の充実	・子育て電話・メール相談、生涯学習・社会教育電話相談（マナビコール）による支援		
	情報提供の充実	・いわてマナビマガジン（月 2 回程度） ・すこやかメルマガ（月 4 回） ・生涯学習情報誌（年 4 回）		
領域 (2) 調査・研究の推進	調査研究事業	・「地域づくりにおける公民館等の役割と課題研究～震災後の地域復興と新たな地域創造に焦点を置いて～」 （2 年次/2 年研究） ・「SDGs(持続可能な開発目標)の実現に向けた社会教育の役割と課題」 （1 年次/2 年研究）	研究発表会 R6. 2. 1～2	生涯学習・社会教育、地域づくり関係者 100 人
領域 (3) 指導者の養成・研修の充実	(1) 人づくり・地域づくり関係職員等研修講座	(1) 社会教育の推進及び人づくり・地域づくりに携わる地区センター・公民館職員（他部局職員も含む）等の資質向上を図る研修会 ※各地区の課題に応じたテーマ設定 「まちづくり」「障がい者の生涯学習推進」「家庭教育」「事業プログラム」「ICT 活用」	中央研修 11/30  移動研修 県内数か所	市町村生涯学習・社会教育関係職員、公民館等職員 各 30 人
	(2) ICT スキルアップ研修講座	(2) オンライン研修の実施方法、オフィスソフトの使い方、広報紙の作成、著作権について、など 6 回の講座	5 月～10 月	県・市町村職員等 各 30 人
	(3) 家庭教育・子育て支援活動交流研修会	(3) 子育て支援・家庭教育支援にあたる担当職員及び子育て支援関係者の資質向上とネットワーク形成を図る研修会	7/12	子育て支援関係者等 45 名

## 令和 5 年度主要施策（概要）

公所名 岩手県立図書館

説明者 館長 森本 晋

## 1 重点施策について（重点事項や前年度からの改善点等）

項目	内容
(1) 図書館機能の充実	指定管理者との連携協力、図書館協議会の開催、アンケート等による利用者ニーズの把握、障がい者等サービスの見直し、デジタル社会や非来館型サービスへの対応など社会的ニーズを踏まえた図書館サービスの構築
(2) 資料の収集、整理、保存及び活用	4階に多目的スペース「i ルーム」を整備し、東日本大震災津波関連に加えて広く自然災害や防災関連資料を集中的に収集・配架の上、復興教育等のグループ学習を支援、郷土資料の重点的収集・整理と講座の開催による資料の活用、古文書等貴重資料の修理
(3) 相談機能の維持・充実	県民が抱える課題の解決等に役立つレファレンスサービスの提供、レファレンス事例や郷土資料に関するデータベースの充実
(4) 学習機会の提供と読書活動の奨励	資料を活用した企画展等による学習の動機付け、本県独自の読書週間における標語及び手づくり絵本の募集、読書サークル等への資料貸出しや読み聞かせ会の実施
(5) 市町村支援及び連携	協力貸出・レファレンス、市町村立図書館の新設等に向けた支援、図書館等職員を対象とした各種研修、共通テーマに関する調査研究
(6) 関係団体等との連携	第109回全国図書館大会岩手大会の開催、県の図書館協会や読書推進運動協議会を通じた連携、博物館・美術館等他の社会教育施設との連携、アイーナ内施設等との連携

## 2 事業計画について（重点事業2～3）

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間
適切な図書館と者比向 切図書館と者比向 運営利用者の向上	図書館資料の収集と活用	1 望ましい蔵書構成を目指した計画的な資料収集 2 各種事業やレファレンスによる資料の有効活用	通年
	郷土資料・震災資料の網羅的収集と活用	1 東日本大震災津波関連資料の収集と活用 2 古文書等の解説、デジタルアーカイブ化の推進 3 郷土資料講座の開催	通年
	利用者サービスの向上	1 レファレンスの充実 2 企画展等各種イベントの開催	通年
	全国図書館大会岩手大会の開催	1 全国の図書館関係者、研究者、出版界、著作権者など、本と情報に関わる全ての人々の交流・連携	11月16日(木)、17日(金)
県民の読書の促進	読書週間による読書活動の促進	1 読書週間関連イベントの開催 (1) こどもの読書週間(全国) 4月23日～5月12日 (2) 読書週間(全国) 10月27日～11月9日 (3) 岩手の読書週間 2月1日～2月14日 2 読書推進標語及び手づくり絵本の募集・表彰 3 「読書をすすめるつどい」(表彰・講演等)の開催	左記期間中 左記期間中 左記期間中 6月～2月 2月3日(土)
市町村立図書館等への支援と連携の推進	訪問等による支援	1 訪問による図書館運営状況の把握・助言・支援 2 相互貸借や団体貸出等による支援	4月～11月 通年
	職員の育成	1 県図書館協会との連携による各種研修の実施 (1) 新任図書館長等研修会(オンライン) (2) 初任職員研修会(オンライン) (3) 専門研修(中部地区・盛岡地区) 2 図書館等職員による調査研究の共同実施	4月28日(金)～5月19日(金) 5月26日(金)～6月23日(金) 8月 9月～2月
	教育事務所等への支援、学習の場の提供	1 個別相談への対応 2 教職員・ボランティア研修等への講師派遣 3 インターンシップ(高校生・大学生)等の受入れ	通年

## 令和 5 年度主要施策（概要）

公所名 岩手県立博物館

説明者 副館長 工藤 善彦

## 1 重点施策について（重点事項や前年度からの改善点等）

項目	内容
(1) 調査研究活動と効果的な資料収集活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の自然史・文化史の拠点となる。</li> <li>・本県の自然や人間の営みの証拠となる資料を継続的に収集し、県民共有の知的財産として次世代に引き継ぐ。</li> </ul>
(2) 利用者に親しまれる常設展示や魅力ある展覧会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査研究の成果や収集資料の状況を展覧会やホームページ等で発表し、県民の生涯学習等を積極的に支援する。</li> <li>・魅力ある展示を推進し、来館者の増加に繋げる。</li> </ul>
(3) 学校教育と博物館との連携強化など教育普及活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中高等学校への学習支援を積極的かつ継続的に行い、博物館利用に繋げる。</li> <li>・県民が豊かな社会生活を営むための機会や情報を提供する。</li> </ul>
(4) 被災文化財等の救援活動及び保存・管理の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸前高田市で被災した博物館資料の再生に向けて支援を継続する。</li> <li>・被災文化財の救出及び保存・管理の対応方針に基づく取組の実行。</li> </ul>

## 2 事業計画について（重点事業 2～3）

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
展示活動	テーマ展 「北上川上流五大ダム探検大作戦」	国交省北上川ダム統管理事務所との共催により、北上川の五大ダムを中心にダムの役割やしくみ、歴史、自然、そこで働く人たちなど、多方面にわたって紹介する。	6月10日（土） ～8月20日（日）	県民
	特別展 「ポケモン化石博物館」	「ゲームの中でカセキポケモンに出会った子供たちが現実世界の博物館で本物の化石に出会う」をコンセプトに、カセキポケモンのイラストや模型と古生物の化石資料を並べて展示することにより、ポケモンを入り口として、より多くの県民に古生物学を楽しく学んでいただくことを目的に開催する。	12月19日（火） ～3月3日（日）	県民
教育普及活動	講演会・講習会・観察会等の開催、学校教育との連携事業	<p>県民の学習意欲の高揚のため各種講演会等を開催するとともに、博物館の教育機能を活かした学校教育との連携事業を実施する。</p> <p>(1) 文化講演会、地質・自然観察会、県博日曜講座等の実施</p> <p>(2) 教材用資料の貸出、県博出前講座・たいけん教室等の実施</p>	随時	県民
受託事業	科学分析保存処理受託事業	東日本大震災津波で被災した陸前高田市の資料の修復等を実施する。	通年	陸前高田市立博物館
自主事業	博物館まつり	多くの方々に博物館をより身近に感じてもらえるよう、各部門による様々なイベントを実施する。	10月8日（日）	県民

令和 5 年度主要施策（概要）

公所名 岩手県立美術館

説明者 副館長 多賀 聡

1 重点施策について（重点事項や前年度からの改善点等）

項目	内容
1 県民の共通財産としての将来への継承	<p>県民のニーズに沿った岩手県らしい、高い集客性が見込める企画展等を開催し、多くの県民に国内外の優れた美術作品鑑賞の機会を提供し、県民の文化芸術に対する理解を深める。また、各展覧会に関連付けた講座等を実施し、県民の文化芸術に対する興味・関心を高める。</p> <p>(1) 企画展及びコレクション展の観覧者数（59,000人）の達成                      (2) 教育普及事業の参加者数（6,000人）の達成                      (3) 来館者の総合満足度 90%以上の達成</p>
2 調査・研究活動等の推進による本県評価の向上	<p>文化芸術振興の拠点的機能を担う施設として、スタッフの人材育成・力量向上を図り、美術品の収集、調査・研究、展示・普及活動等を総合的に推進する。</p> <p>(1) 美術品の計画的な収集、修復保存                      (2) 調査・研修成果等に基づく岩手発の独自企画展開催                      (3) 計画的な美術史研究や新規の教育事業開発の推進</p>
3 県民が等しく鑑賞・参加・創造できる環境の整備	<p>県民が優れた美術品の鑑賞や制作活動を体験できるよう環境を整備する。</p> <p>(1) 効果的で訴求力のある広報活動の展開                      (2) 県民ニーズに沿った魅力ある自主事業の実施                      (3) 収蔵作品データの公開利用の推進</p>

2 事業計画について（重点事業 2～3）

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
展示事業	1 企画展	<p>企画展開催</p> <p>(1) みちのくといしい仏たち                      (2) 面構 片岡球子 - たちむかう                      絵画 -                      (3) フィンランドのライフスタイル - 暮らしを豊かにするデザイン -                      (4) 高畑勲展 - 日本のアニメーションに遺したもの -                      (5) そのとき、岩手では                      (6) アートフェスタ 2023</p>	<p>4/8～5/21                      6/3～7/17                      7/29～9/10                      9/30～12/17                      1/6～2/18                      3/2～3/24</p>	一般
	2 コレクション展	所蔵作品を広く公開、郷土ゆかりの作家・作品を紹介するコレクション展開催	第 1～4 期	
教育普及活動事業	1 展示関連	ギャラリートーク、関連講座等	通年	一般 ※内容により対象限定
	2 美術普及	スタジオプログラム、美術講座等		
	3 教育連携	出前授業		
	4 来館者対応	一般団体、学校団体		



## 令和 5 年度の施策に係る概要

公所名 岩手県立県南青少年の家

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
1 主催事業・研修活動の充実	(1) 自然環境と地域の特性を生かした研修内容の充実 ・幼児用プログラム「森の探検ごっこ」のアクティビティ拡充 (2) 事前相談・打ち合わせの奨励 ・研修目的達成のためのプログラム等相談の充実 (3) 関連施設・団体との連携による魅力的な事業の展開 ・千貫石森林公園との連携・協力
2 利用促進	(1) 関係教育機関、団体との連携による効果的な利用の促進 ・高校及び大学、放課後児童クラブ等への直接訪問による利用者確保 ・金ヶ崎町グラウンド・ゴルフ協会交流会(2回)、理事長杯参加等の利用促進 (2) 年間を通じた広報活動の強化 ・HP、SNSの活用拡大及び充実(インスタグラムの立ち上げ)
3 環境の整備・充実(安全の確保)	(1) 施設・設備の点検と安全の確保及び計画的な補修・整備 (2) 不審者・動物等への対策(職員による巡回、利用者への注意喚起)

## 2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
受託	自然ワンダークラブ 春・夏・秋・冬	四季を通じた自然の中、異年齢で構成される集団に様々な活動を体験させることを通し、岩手の自然や風土を味わわせたり復興について考えさせたりするとともに、仲間を大切にしようとする心を育む。 <内容> 春 創作体験、野外炊事体験等 夏 川遊び、テント泊、創作体験活動等 秋 登山体験、星空観察、ニュースポーツ体験等 冬 雪遊び(冬季スポーツ)ファイナルパーティー等	5月27日(土)～28日(日) 8月19日(土)～20日(日) 9月30日(土)～10月1日(日) 1月13日(土)～14日(日)	小学4年～6年生まで 30人
受託	かるがも親子体験教室 【親子de宿泊体験編】	親子で共同体験や交流活動を通じ、親子の絆を深める。また、親子同士の交流を通して子育てをする仲間作りを促進する。 <内容> 宿泊体験、アウトドアクッキング体験創作活動、親子星空観察会、家庭教育学習会	10月28日(土)～29日(日)	小学校の子どもをもつ家族 20家族 40人
受託	県南はひとふる♡Day 【スクラム編】	日常の学習と異なる活動の提供を通して、体験の機会を拡大させるとともに参加者相互の交流を図る。 <内容> ・創作活動体験 ・ニュースポーツ体験	12月2日(土)	特別支援学校在籍児童と保護者 10家族 20名

## 令和5年度の施策に係る概要

公所名 岩手県立陸中海岸青少年の家

### 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点)

項 目	内 容
1 主催事業・研修活動の充実	(1)海を利用した活動の拡大による地域復興への貢献 ・山田湾大島(通称オランダ島)でデイキャンプを実施 ・山田町教育委員会等と連携し、海洋スポーツ体験や清掃活動等を取り入れた事業を実施 (2)地域の人材、関係団体等との連携を深め、利用者ニーズを踏まえたプログラムの企画・実施 ・「山田町地域おこし協力隊」や地域団体との連携による、プログラムの企画、事業実施 ・釣り事業の内容面充実に伴う事業回数の増加
2 利用の促進	(1)お客様情報の管理によるリピーターの確保と保育施設(幼児)の利用拡大、幼児期運動プログラム「マリン・キッズ」の実施 (2)地域の各団体への利用を促すキャラバン事業の充実 (3)ホームページやフェイスブックによる広報の充実
3 環境の整備・充実(安全の確保)	(1)施設、設備の点検強化と安全確保並びに計画的な改修等 ・自主点検や体育施設管理士による点検等の実施 ・避難経路の確認や利用申請時の説明等 ・防犯面の点検を強化 ・建物・設備の老朽化に伴う計画的な整備に係る県との協議 ・所外での活動(沢、山、海など)における十分な安全対策の実施 避難経路の確認や申込時の説明等 (2)アフターコロナにおけるテント泊体制の充実と利用促進

### 2 事業計画について(重点事業2～3)

領 域	事 業 名	趣 旨・内 容	期日・期間	対象・人数
受 託	マリンランド陸中自然体験塾 ①海の子野外教室	・自然体験活動を通して、思いやりの心や自然を大切にする心を育み、参加者相互の交流を図る。 <内容> ・オランダ島デイキャンプ、海洋スポーツ、星空観察、海釣り、磯遊び、野外炊事等	7月26日(水) ～29日(土) (3泊4日)	小学生 5・6年生 30人程度
受 託	マリンランドキャラバン	・出前講座として活動を提供することで施設の利用促進につなげる。 <内容> ・創作活動、ニュースポーツ、餅つき等	通年	学校、子ども会、スポ少、公民館活動、サークル等
自 主	エンジョイ夜釣り	・夜釣り体験を通して、親子や参加者相互の交流やふれあいを深める。 <内容> ・堤防での夜釣り等 ・仕掛けづくり、釣りのマナー講習等	8月26日(土)  10月14日(土)	中学生までの子どもを持つ親子 10家族 40人程度

## 令和5年度の施策に係る概要

公所名 岩手県立県北青少年の家

### 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項 目	内 容
1 主催事業・研修活動の充実	(1) 自然環境や施設の特性を生かした研修内容の充実 ・大自然の中での野外活動、プラネタリウム室やスケート場を対象とした体験活動の充実 (2) 今日の教育課題に対応するための事業企画 ・特別支援学校に所属する児童生徒、別室登校・適応指導教室に通う児童生徒を対象とした出前事業の充実 (県北ステラクラブ) (3) 関連施設・団体との連携による開催事業の改善・充実 ・一戸観光天文台との連携による事業の実施 ・環境学習交流センターからの講師派遣及び出張環境学習会、陸中青少年の家、二戸市シビックセンターからの講師派遣による創作活動等、開催事業の充実 ・ツリークライミング「クラブ やまねっこ」協賛によるツリークライミングを通しての自然体験活動の提供
2 利用の促進	(1) 広報活動による利用促進・利用団体の拡大 (2) 生涯学習・社会教育の場の提供(施設PRによる周知)
3 環境の整備・充実(安全の確保)	(1) 利用者の安全・安心に繋がる職員への応急処置技能講習の実施 (2) 定期点検(月1回)と日常点検(研修班員や警備員等の巡回)の徹底とその結果を踏まえた迅速な対応

### 2 事業計画について(重点事業2～3)

領 域	事 業 名	趣 旨・内 容	期 日・期 間	対 象・人 数
自主	親子でチャレンジ	宿泊を伴う野外活動を通して、家族のふれあい、参加者相互の親睦を深めると共に、野外活動に親しむきっかけとする。 内容：野外炊事・自然体験活動等	10月7日(土) ～8日(日)	小学生を含む家族 30名程度
受託	わんぱく広場	野外活動等を通して、命を大切に作る心や自然を大切に作る心、豊かな感性や思いやりの心を育み、家族や友達と協力して活動を楽しむ態度を育てる。 内容：魚つかみ・魚さばき 野外炊事等	①6月10日(土) ②6月11日(日)	子どもから大人まで 40名程度
受託	県北ステラクラブ	別室登校・適応指導教室に通う児童生徒、特別支援学校に通う児童生徒対象の体験活動をサポートする出前講座。 内容：ニュースポーツ 創作活動等	通年  4月1日(土)～ 令和6年2月末 日	学校不適應児及び障害児等 (定員なし)

## 令和 5 年度主要施策（概要）

公所名 岩手県立野外活動センター

説明者 所長 小岩 孝朗

## 1 重点施策について（重点事項や前年度からの改善点等）

項目	内容
(1) 施設利用の 拡充	○利用団体の円滑な受入と利便性の向上 ○利用者アンケートの分析等に基づいたニーズ把握の精度向上 ○広報活動の拡充(SNS等の活用促進)
(2) 施設環境の 整備・充実	○施設設備に係る継続的・適時的な安全管理の徹底 ○敷地内全般における環境の整備(草刈、除草、害虫駆除等) ○委託業者との円滑な連携の推進(食堂、清掃、警備等) ○施設管理の実態整理及び生涯学習文化財課との連携促進
(3) 主催事業の 充実	○自然体験活動事業(「ドラマチック海遊塾」「野活キッズ」等) ○家庭教育関連事業(「親子海釣り教室」「ファミリーキャンプ」等) ○指導者養成事業(「ボランティアスタッフ養成講座」等) ○復興防災事業(「震災・防災学習現地研修会」「親子防災教室」等) ○スポーツ推進事業(「スポーツ教室」「はまピー体操教室」等)
(4) 研修プログ ラムの充実	○自然体験活動(「野外炊事」「テント泊」「いかだ体験」等) ○スポーツ活動(「テニス」「バレーボール」「ニュースポーツ」等) ○復興・防災教育(「防災ウォッチング」「避難所運営ゲーム」等)

## 2 事業計画について（重点事業 2～3）

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
自然体 験活動 事業	ドラマチック 海遊塾	海をテーマとした活動を通し て、岩手県の自然の素晴らしさ を再発見する。 また、初めて集う仲間たちと 4日間をともに生活する中で、 協力することの大切さや仲間を 思いやる気持ちを育む。	8/3(木) ～6(日)	小学5年 ～中学生  30名
復興防 災事業	震災・防災学 習現地研修会	復興教育担当教員等を対象と した震災・防災学習プログラム に係る現地研修会を実施するこ とにより、学校教育と連携した 震災伝承と防災文化の醸成を図 る。 ※東日本大震災津波伝承館との 連携	① 7/27(木) ② 7/28(金)	教員  各回20名
家庭教 育関連 事業	野活クラフト 教室	親子を対象とした創作活動。 季節の行事に関わる飾りづく りを体験する。 ① クリスマスリースづくり ② ミニ門松づくり	① 12/2(土) ② 12/9(土)	小学3年～ 中学生とそ の保護者 ① 30名 ② 20名